

# 田んぼの水の話

地元の琴丘小学校の児童を対象とした農業施設見学会は今年で連続7回目となりました。

今回、5年生38名と引率教師2名が本土地改良区管理の基幹農業施設を見学しました。5年生では、ちょうど6月の時期に農業用水について学習するとあって学校側でも実際の現場を体験することは大変有意義であるとのことでした。

最初に基幹水源である羽根川ダム湖水館において写真パネルやパンフレットを使い、農業用水の流れと各水利施設の役割を説明し、土地改良区がどのように関わっているかを説明し、その後の質疑応答では児童から活発な質問があり、それに回答し進めていきました。

施設見学では水の流れに沿って上流のダム、ため池、揚水機場、下流の排水機場の順に廻り、各施設の運転操作等を実際に体験してもらいました。参加した児童のほとんどは水利施設を間近に見るのは初めてのようで、興味を持って見学していました。

今後もこの活動を継続し、農業水利施設及び土地改良区の役割を児童及び地域住民に理解してもらえるように努める考えです。



活動体制	
実施主体	水土里ネット琴丘（琴丘土地改良区）
後援・連携	三種町琴丘小学校、三種町教育委員会
実施期間	平成24年6月21日
参加者	小学校5年生38名、教師2名、土地改良区（理事長、職員2名、機場管理人1名）
報道関連	特になし
活動実施年数	8年目（H17年～）
連絡先	〒018-2104 山本郡三種町鹿渡字中沢新田34-1 琴丘土地改良区 TEL. 0185-87-2277
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット琴丘（牧野 一）					
○活動の目標及び達成率	目標	土地改良区及び農業水利施設に対する社会認識の向上			
	達成率	85%			
○活動に対する評価					
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	写真パネルや関連図書、パンフレット等を活用した
①役職員・組合員の参加	B	役職員が運動推進に協力している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	土地改良区の役職員が今後も活動を継続していく	①他組織との連携構築	A	町教育委員会、小学校との連携が構築されている
2. 活動の意匠性について			②地域住民等の理解	A	活動を継続することで地域住民の理解は深まっている
①基本理念の設定	A	土地改良区と農業水利施設の役割を強調している	③施設管理・地域資源の保全強化	B	児童の段階である程度周知し、将来に繋げたい
②地域の歴史等の伝承	A	先人の歴史や苦勞をできるだけ伝えるようにしている	④運動の地域づくりへの関わり	B	徐々に理解を頂いている
③運動の先駆性	B	特段手本とはならないと思うことができる範囲で活動する	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	施設周辺の草刈りを行い、環境保全に貢献している。
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	農業水利施設を理解することは農業振興に繋がる
①運動の継続性	A	6年間継続中である	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	児童に伝えることにより地域に広げたい	・継続することが大事であり、無理のない形で実施していきたい。		
③運動の計画性	A	事前の打ち合わせや準備を綿密に行っている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他